

剣道具販売店関係者各位
会 員 各 位

一般財団法人愛知県剣道連盟
理事長 祝 要 司

剣道用具の取り扱いに関する注意喚起

一般財団法人愛知県剣道連盟では、昨年度より各種の全国大会予選会において、竹刀計量・検査を実施しています。安全性、公平性の観点から、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則に則った竹刀の使用を広く浸透させるように努めています。

6月20日に行った「第60回全日本女子剣道選手権大会県予選会」において、参加者39名が検査に提出した計117本の竹刀のうち、規格外竹刀・不正竹刀が8本ありました。※竹刀検査不合格率6.8% (参考)3/14全日本剣道選手権大会 同不合格率12.7%

ここで注目したいのは、購入したばかりの竹刀で不合格になった参加者がいたことです。この事実を重く受け止め、愛知県剣道連盟では、用具を販売される剣道具店の方々、使用する会員の皆様方に、改めて規則の内容を再確認していただき、適正な用具の販売、使用を遵守し、剣道活動の安全性、公平性を保つ努力をお願いしたいと存じます。

下記の内容をご熟読いただき、今後の剣道活動に活かしていただきますようお願いいたします。

1) 竹刀関連

- 竹刀の長さ（全長）、重さ、先革の長さが適正か
- 竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正か
- 先から8センチメートル部分のちくとうの太さ（対角）が適正か
- 先端部をちくとうの最も細い部分とし先端から物打に向かってちくとうが太くなっているか
- 中結の位置（＝全長の約1/4）が適正か
- 各ピース（竹）の間隙がないか、破損・ささくれはないか
- 不当な付属品を使用していないか
- 安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていないか

2) 小関連

- こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の1/2以上を保護しているか
- 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が2.5センチメートル以内であるか
- 小手頭部・小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力があるか

3) 面関連

- 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されているか
- 面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力があるか

4) 剣道着関連

- 袖の長さについて、肘関節の保護ができるか（構えたときに肘関節が隠れること）

表1 竹刀の基準(一刀の場合)

	対象	中学生	高校生(相当年齢の者も含む)	大学生・一般	
長さ	男女共通	114センチメートル以下	117センチメートル以下	120センチメートル以下	
重さ	男性	440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上	
	女性	400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上	
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上	20ミリメートル以上

表2 竹刀の基準(二刀の場合)

	対象	大学生・一般		
		大刀	小刀	
長さ	男女共通	114センチメートル以下	62センチメートル以下	
重さ	男性	440グラム以上	280~300グラム	
	女性	400グラム以上	250~280グラム	
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	19ミリメートル以上

付 剣道試合・審判運営要領

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

<ちくとうの最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上

